

つばめ通信

6月に藪原宿で始まるアートの祭典「夜明けの家」の活動報告を月2〜4回配信していきます。どうぞよろしくをお願いします。

澤頭修自先生から木曾の歴史を聴く



武蔵野美術大学大学院を修了したばかりの谷口智美と伊藤美緒が3月13日に木曾入りして藪原宿の展示会場となる空き家視察を行ったあとに郷土史家の澤頭修自先生のお話を木祖村にオープンした缶づめバーWAKUWAKUでお聞きしたのでした。外から木曾にやってくる地域と向き合いながら作品を作っていくアーティストにとって地域の方のお話をお聴きする時間は宝です。今回の木曾ペインティングスは澤頭先生のおかげで本当に多くの地域の歴史や習慣をアーティストが消化したうえで作品化していける気がします。本当にありがとうございます。



二人の木曾滞在二日目。木曾町大原にある木曾ペインティングスの農園 painter's farm 周辺から作品に使用する赤土を採取しました。地域の素材からイメージーションを膨らませ、いよいよ制作がスタートします。

普段谷口は粘土を使って自身の周りを囲む巢のような作品を作り、伊藤は荒々しいドローイング調の絵画を制作していますが、木曾の土と出会ってどのような変化を起こすのでしょうか。お楽しみに。

マルオカ工業は今年もアーティストを支援してくれます



昨年に続き今年もマルオカ工業のご協力によりアーティストへの画材提供を行って頂けることになりました。ありがとうございます。

MARUOKAのキャンバスは画家であれば使ったことのない人を探す方が難しい程に皆お世話になっています。

木祖村は日曜画家の村を謳っていますが、今後は全アーティストの村として認知させていくのが私たち木曾ペインティングスの役割でもあると考え活動していきたいと思えます。

木曾ペインティングス Vol.3

夜明けの家 ～寝覚めに紡ぐ宿場町の夢

会期: 2019年6月6日～22日 芒種から夏至まで

会場: 木祖村 藪原宿 (大銭屋、大つたや、新大坂屋、南寿屋、江戸枝屋)

アーティスト:

中沢研、彦坂敏昭、蠶恒太郎、船井美佐、山下勝彦、藤原裕策、胡桃澤千晶、高澤日美子、池上怜子、義家麻美、稲垣柚実、菊地風起人、坂口佳奈、近藤太郎、伊藤美緒、谷口智美、新野伽留那、金海生、菅野由紀、手塚美月、片山初音、奥谷風香、ベアトリス・サンチェス、

お問い合わせ

発行 木曾ペインティングス・代表 岩熊力也 〒399 - 6101 木曾郡木曾町日義 4898 - 522

Mail : kisopaintings@gmail.com